

プログラム

第1日目 11月21日(土)

9:00 ~ 受付開始

9:15 ~ 9:30 開会の辞 大会長 福永 浩司 (東北大学大学院薬学研究科 薬理学分野)

9:30 ~ 10:50 一般演題1 座長 松崎 秀夫 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

演題番号1 【奨励賞対象演題】

Association of prosaposin and progranulin with the pathology of Alzheimer's disease

○Anarmaa Mendsaikhan¹⁾, Ikuo Tooyama¹⁾, Douglas G. Walker¹⁾

1) Molecular Neuroscience Research Center, Shiga University of Medical Science

演題番号2 【奨励賞対象演題】

線条体中間部におけるドパミン D1 シグナルの制御機構と不随意運動における役割

○杵山 慶太¹⁾、黒岩 真帆美¹⁾、首藤 隆秀¹⁾、福田 孝一²⁾、西 昭徳¹⁾

1) 久留米大学医学部薬理学講座

2) 熊本大学大学院生命科学研究部形態構築学分野

演題番号3 【奨励賞対象演題】

縦書き書字にて鏡像書字が頻発してみられた左視床出血の一例

○栗田 幸平¹⁾²⁾、平野 好幸¹⁾²⁾

1) 千葉大学子どものこころの発達教育研究センター

2) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科

演題番号4 【奨励賞対象演題】

Roles of mitochondrial ferritin (FTMT) in neuroinflammation and angiogenesis

○Undral Buyandelger¹⁾, Douglas G. Walker¹⁾, Daijiro Yanagisawa¹⁾, Toshifumi Morimura¹⁾, Ikuo Tooyama¹⁾

1) Molecular Neuroscience Research Center, Shiga University of Medical Science

10:50 ~ 11:00 休憩

11:00 ~ 12:00 特別講演 座長 福永 浩司 (東北大学大学院薬学研究科 薬理学分野)

東北メディカル・メガバンク計画と未来型医療

山本 雅之 (東北メディカル・メガバンク 機構長)

12:00 ~ 12:30 大会長講演 大会長 福永 浩司 (東北大学大学院薬学研究科 薬理学分野)
座長 伊豫 雅臣 (千葉大学大学院医学研究院 精神医学)

12:30 ~ 13:00 総会

13:00 ~ 13:10 休憩

13:10 ~ 14:30 一般演題 2 座長 福田 敦夫 (浜松医科大学神経生理学講座)

演題番号 5 【奨励賞対象演題】

知的障害を呈する織毛病の原因遺伝子の機能解析

○銀生卓瑪¹⁾、三好 耕¹⁾、韓薩日娜²⁾、秦圓圓¹⁾、天野元揮¹⁾、吉村 武¹⁾、片山泰一¹⁾

1) 大阪大学大学院、連合小児発達学研究科、分子生物遺伝学

2) 浜松医科大学、光先端医学教育研究センター、生体機能イメージング研究室

演題番号 6 【奨励賞対象演題】

カルボニルストレスを伴う統合失調症の病態にミトコンドリア機能低下による神経発達障害が関与している可能性

○原 伯徳¹⁾²⁾、豊島 学¹⁾、久野 泰子¹⁾、大和田 祐二²⁾、吉川 武男¹⁾

1) 理化学研究所 脳神経科学研究センター 分子精神遺伝研究チーム

2) 東北大学大学院医学系研究科 器官解剖学講座

演題番号 7 【奨励賞対象演題】

Zbtb16 は社会性認知行動と神経発達を制御する

○白井 紀好¹⁾²⁾³⁾、Stefano Berto⁴⁾、小西 彩海¹⁾、近藤 誠¹⁾³⁾、Genevieve Konopka⁴⁾、
松崎 秀夫⁵⁾⁶⁾、島田 昌一¹⁾³⁾⁶⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科神経細胞生物学講座

2) 大阪大学国際医工情報センター

3) 大阪精神医療センターこころの科学リサーチセンター依存症ユニット

4) テキサス大学サウスウエスタンメディカルセンター神経科学部門

5) 福井大学子どものこころの発達研究センター脳機能発達研究部門

6) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科

演題番号 8 【奨励賞対象演題】

女子大学生における食行動と「目から心を読むテスト」を用いた前頭領域血流動態の関連

○鎌下 莉緒¹⁾²⁾、岩永 竜一郎³⁾、平野 好幸¹⁾²⁾

1) 千葉大学子どものこころの発達教育研究センター

2) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科博士後期課程

3) 長崎大学生命医科学域 (保健学系)

14:30 ~ 14:40 休憩

演題番号 9

小児期の注意欠如多動性障害(ADHD)患者を対象にしたチペピジンヒベンズ酸塩の有効性を検討するためのプラセボ対照二重盲検比較試験 -血清オキシトシンと不注意の相関について-

○佐々木 剛¹⁾²⁾、橋本 謙二³⁾、細田 豊⁴⁾、小田 靖典²⁾、新津 富央²⁾、藤田 有子³⁾、川崎 洋平⁵⁾、伊豫 雅臣¹⁾²⁾³⁾

- 1) 千葉大学医学部附属病院 こどものこころ診療部
- 2) 千葉大学大学院医学研究院 精神医学
- 3) 千葉大学社会精神保健教育研究センター
- 4) 国際医療福祉大学成田病院 精神科
- 5) 千葉大学医学部附属病院 臨床試験部 生物統計室

演題番号 10

Gad1 ヘテロ欠損と胎生期ストレスの二重ヒットによりエピジェネティクに惹起される神経発生・分化の運命転化

王天英¹⁾、Adya Saran Sinha¹⁾、柳川右千代²⁾、河合智子³⁾、秦健一郎³⁾、○福田敦夫¹⁾

- 1) 浜松医科大学神経生理学
- 2) 国立成育医療研究センター研究所周産期病態
- 3) 群馬大学大学院遺伝発達行動学

演題番号 11

抗不安薬ジアゼパムの長期使用による海馬神経機能への影響

○古川 智範¹⁾、二階堂 義和²⁾³⁾、下山 修司¹⁾⁴⁾、上野 伸哉¹⁾⁴⁾

- 1) 弘前大学大学院医学研究科附属脳血管病態研究施設脳神経生理学講座
- 2) 弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座
- 3) 弘前大学大学院医学研究科フレイル予防学研究講座
- 4) 弘前大学大学院医学研究科附属子どものこころの発達研究センター

演題番号 12

内在性満腹物質レプチンの学習記憶促進作用

○大村 裕¹⁾、佐々木 和男²⁾

- 1) 九州大医統合生理
- 2) 富山大工・生物情報

演題番号 P-1

Ndufs4 ablation results in decrease of synaptophysin expression in mouse hippocampus

○Subrata Kumar Shil¹⁾, Yoshiteru Kagawa¹⁾, Banlanjo Abdulaziz Umaru¹⁾, Takaaki Abe²⁾, Yuji Owada¹⁾

1) Department of Organ Anatomy, Graduate School of Medicine, Tohoku University

2) Department of Nephrology, Endocrinology and Vascular Medicine, Graduate School of Medicine, Tohoku University

演題番号 P-2

T-type calcium channel enhancer SAK3 ameliorates depressive behaviors in OBX mice by promoting adult hippocampal neurogenesis

○Jing Xu¹⁾, Mengze Yu¹⁾, Yasushi Yabuki¹⁾, Kohji Fukunaga¹⁾

1) Department of Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University

演題番号 P-3

Exploration of molecular pathways critical for autism spectrum disorders in animal models

○Matsuo K¹⁾, Shinoda Y¹⁾, Abolhassani N²⁾, Nakabeppu Y²⁾, Han F³⁾, Fukunaga K¹⁾

1) Department of Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University

2) Division of Neurofunctional Genomics, Department of Immunobiology and Neuroscience, Medical Institute of Bioregulation, Kyushu University

3) Key Laboratory of Cardiovascular & Cerebrovascular Medicine, School of Pharmacy, Nanjing Medical University

演題番号 P-4

Lack of Nicotine-Induced Conditioned Place Preference Behavior in Fatty Acid-Binding Protein 3 Null Mice

○Wenbin Jia¹⁾, Kohji Fukunaga¹⁾

1) Department of Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University

演題番号 P-5

Role of fatty acid-binding proteins in neuronal injury by brain ischemia in mice

○Qingyun Guo¹⁾, Ichiro Kawahata¹⁾, Tomohide Degawa¹⁾, Kohji Fukunaga¹⁾

1) Department of Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University

演題番号 P-6

Pathophysiological significance of glial FABP7 in the synucleinopathies

○An Cheng¹⁾, Kohji Fukunaga¹⁾

1) Department of Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University

11月22日(日)

9:00 ~ 受付

9:20 ~ 10:20 一般演題 4 座長 金原 信久 (千葉大学社会精神保健教育研究センター)

演題番号 13

背側縫線核セロトニン作動性ニューロンにおけるオレキシン誘発性発火後過分極がシナプス入力感受性に及ぼす影響

○石橋 賢¹⁾、福田敦夫¹⁾、Christopher S. Leonard²⁾

1) 浜松医科大学、神経生理学

2) Department of Physiology, New York Medical College

演題番号 14

リン酸化によるカリウム-クロライド共輸送体(KCC2)の機能制御はGABAによる抑制性伝達形成に必須である

○渡部 美穂¹⁾、Kristopher T. Kahle²⁾、福田 敦夫¹⁾

1) 浜松医科大学、神経生理学講座

2) Departments of Neurosurgery, Pediatrics, and Cellular and Molecular Physiology, Centers for Mendelian Genomics, Yale School of Medicine

演題番号 15

神経連続発火活動低下を伴うてんかん性脳症発症機序の解明を目指して

○秋田 天平¹⁾、青戸 一司²⁾、才津 浩智²⁾、北野 勝則³⁾、福田 敦夫¹⁾

1) 浜松医科大学、医学部医学科、神経生理学講座

2) 浜松医科大学、医学部医学科、医化学講座

3) 立命館大学、情報理工学部知能情報学科、計算神経科学研究室

10:20 ~ 10:30 休憩

10:30 ~ 11:30 一般演題 5 座長 秋田 天平 (浜松医科大学神経生理学講座)

演題番号 16

タウオパチーモデルマウスの病理発現を制御する分子の同定

○柳沢 大治郎¹⁾、Hamizah Shahirah Hamezah¹⁾、Aslina Pahrudin Arrozi¹⁾、遠山 育夫¹⁾

1) 滋賀医科大学 神経難病研究センター

演題番号 17

レビー小体疾患における α シヌクレインの新たな伝播機構

○川畑 伊知郎¹⁾、関森 智紀¹⁾、王 昊陽¹⁾、Luc Bousset²⁾、Ronald Melki²⁾、福永 浩司¹⁾

1) 東北大学大学院薬学研究科 薬理学分野

2) CEA, Institut François Jacob (MIRcen) and CNRS, Laboratory of Neurodegenerative Diseases

演題番号 18

統合失調症患者の皮質抑制と抗精神病薬の影響：TMS による測定とメタ解析

○金原 信久¹⁾、宮澤 惇宏²⁾、仕子 優樹³⁾、小澤 義人³⁾、川崎 洋平³⁾、伊豫 雅臣¹⁾

1) 千葉大学社会精神保健教育研究センター

2) 千葉大学大学院医学研究院精神医学

3) 千葉大学医学部附属病院 臨床試験部 生物統計室

11:30 ~ 11:45 奨励賞・ポスター発表賞 授賞式

11:45 ~ 12:00 閉会の辞 大会長 福永 浩司 (東北大学大学院薬学研究科 薬理学分野)
